

付着生物(ユウレイボヤ等)ラーバ情報

平成28年11月14日～24日に陸奥湾5定点で付着生物(ユウレイボヤ等)ラーバ調査を行ったので、その結果をお知らせします。

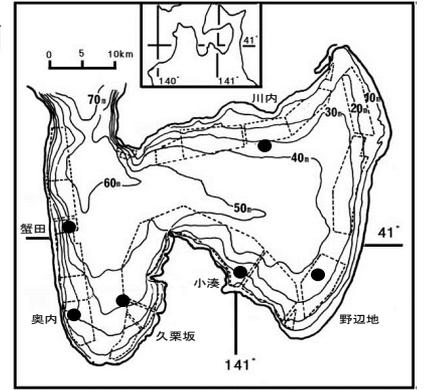


図1 ラーバ調査地点

1 ラーバ等の出現数

(1) ユウレイボヤ

各地点ともラーバは見られませんでした(図2)。

(2) ムラサキイガイ

ラーバは、蟹田沖で12.5個/トン、奥内沖で85.0個/トン、久栗坂沖で284.4個/トン、野辺地沖で73.4個/トン、川内沖で50.8個/トン見られました(表1、図3)。

(3) その他

ザラボヤのラーバは11月24日に久栗坂沖で0.6個/トン、川内沖で0.8個/トン見られましたが、オベリア類(クサ)のクラゲとキヌマトイガイ(コメガキ)のラーバは見られませんでした(表1)。

表1 ラーバ等の出現数

調査地点	調査月日	単位:個/トン		
		ザラボヤ	オベリア類	ムラサキイガイ
蟹田沖	H28.11.21	0.0	0.0	12.5
奥内沖	H28.11.18	0.0	0.0	85.0
久栗坂沖	H28.11.24	0.6	0.0	284.4
野辺地沖	H28.11.14	0.0	0.0	73.4
川内沖	H28.11.24	0.8	0.0	50.8

※久栗坂・川内沖は実験漁場内

2 水温の状況

各ブイ中層の11月28日の日平均水温は、表2のとおりです。

3 今後の見込み

(1) ユウレイボヤ

現在、陸奥湾の中層水温が10～13℃台に低下しています。ユウレイボヤは、水温が20℃以下に低下すると産卵し、ラーバの出現ピークは例年11～12月となっていますが、依然としてラーバが見られていないため、分散済みの籠への今秋の付着は少ないと思われます。

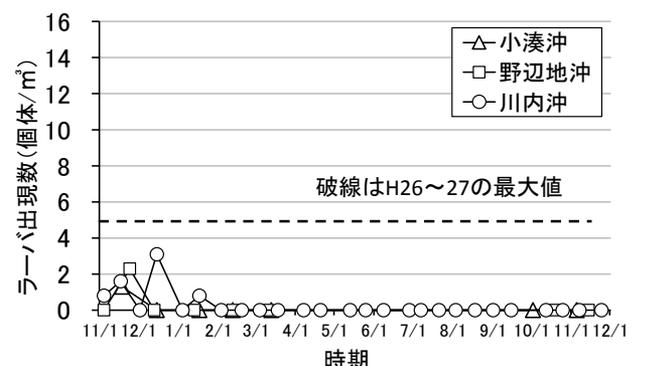
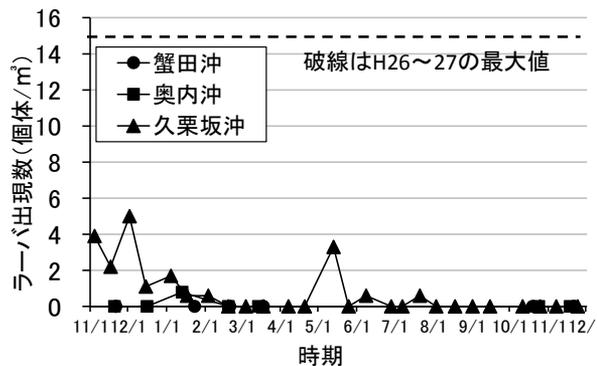


図2 ユウレイボヤラーバ出現数の推移(平成27年11月～平成28年11月)

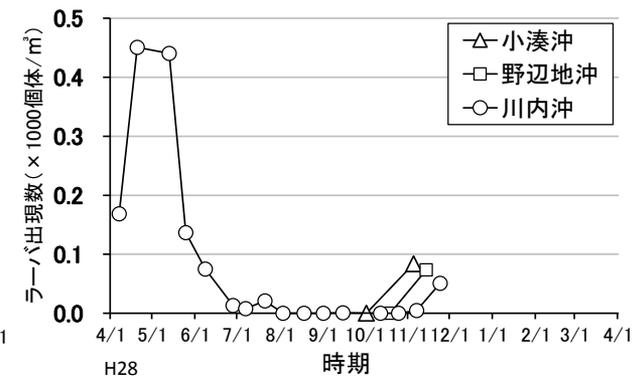
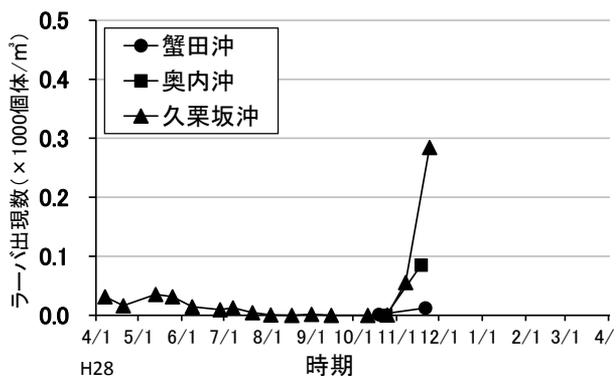


図3 ムラサキイガイラーバ出現数の推移(平成28年4月～11月)

(2) ムラサキイガイ

久栗坂沖でラーバが急激に増加してきたので、掃除した耳吊りや入れ替えした籠へ付着する可能性があると思われます。

(3) その他

オベリア類(クサ)やキヌマトイガイ(コメガキ)の付着は年明けになるものと思われます。

表2 各ブイ中層の日平均水温

観測地点	水温(℃)	観測地点	水温(℃)
平館ブイ	13.8	東田沢ブイ	11.7
蓬田ブイ	13.2	野辺地ブイ	11.3
奥内ブイ	12.7	横浜ブイ	10.5
青森ブイ	12.6	浜奥内ブイ	10.1
浦田ブイ	12.5	川内ブイ	10.2
		東湾ブイ	10.5

※平館、青森、東湾は15m層、それ以外は10m層

発行元: 地方独立行政法人

青森県産業技術センター 水産総合研究所

住所: 青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10

TEL: 017-755-2155 FAX: 017-755-2156

水産総合研究所ホームページURL: <http://www.aomori-itc.or.jp/index.php?id=2184>

id=2184

ホタテガイ採苗速報 携帯電話用QRコード(①)

海ナビ@あおもり 全モバイル端末共用QRコード(②)



①



②